

関節モビリゼーション施術
臨床報告 7月度
【肩関節】

結果例: 著効◎、有効○、やや有効△、
無効▲、悪化×

患者様 年齢性別	7月	施術関節	効果	施術詳細
NSさん 83女性	4	肩・仙腸・ 腰仙	○4→2	右肩関節の可動域制限、疼痛は動作時静止時ともにあり。通常の施術に合わせて肩のモビリゼーションを行う。可動域10°ほど外転・屈曲は改善。それ以上は疼痛再現された。
	11	肩・仙腸・ 腰仙	○4→1.5	前回より疼痛、可動域制限が悪化した状態。施術後、かなりの改善を見ました。腰・仙腸モビで50%、肩モビで50%改善に寄与したイメージです。
	18	肩・仙腸・ 腰仙	○4→1	肩関節痛に加え手首関節痛もあるとのこと。腰下肢痛は無い状態。施術後肩関節屈曲外転は10°ほど改善。手首関節は変わらず。
	25	肩・仙腸・ 腰仙	○4→2	数日前に肩背部痛が強かったとの事。疼痛・可動域ともに一定の改善あり。
YEさん 88女性	4	肩・仙腸・ 腰仙	○	長年の右肩関節後遺症があり施術。屈曲10° 外転5° くらい改善。その角度でも疼痛なし。
	11	肩・仙腸・ 腰仙	△	前回から少し戻った状態で、施術後は屈曲・外転とも前回レベルに改善。
	18	肩・仙腸・ 腰仙	△	肩関節の若干の改善を自覚される。他動では屈曲5°以上、内転も改善された。
	25	肩・仙腸・ 腰仙	○	屈曲・内転で改善が見られた。疼痛も減少の様子です。
TKさん 83女性	4	肩・仙腸・ 腰仙	△	脳梗塞後遺症で右肩関節の可動域制限と疼痛。施術後、真っ直ぐ屈曲可能となる。疼痛も若干軽減。
	11	肩・仙腸・ 腰仙	○	まず仙腸・腰仙モビを行いその後肩モビを行ったところ、改善割合は前者で80%、後者20%で自覚された。
	18	肩・仙腸・ 腰仙	△	右側の肩と腰の痛みを訴えられたので両方に施術した。肩関節に関しては、自覚は薄い但他動では疼痛範囲が減少し可動域は屈曲外転とも改善は見られた。
	25	肩・仙腸・ 腰仙	▲	疼痛も強く、可動域の改善はあまり見られず。

MMさん 90男性	5	肩	▲	原因不明の右肩関節外旋・外転痛で震戦も伴う。施術後、他動では5~6° 外転・屈曲の可動域向上が見られた。自動運動では変わらず。
	12	肩	△	自動・他動ともに施術後一定の改善が見られた。震えの減少、疼痛・可動制限改善など。
	19	肩	▲	右上肢の浮腫が見られるようになり、モビリゼーションを交えて施術後浮腫緩和が見られるも疼痛・可動域はあまり改善せず。
	26	肩	△	他動関節運動では10° 以上の可動域改善が見られた。外旋は若干の改善に留まる。
MMさん 85女性	5			主訴が膝関節痛となり、下肢を重点にしたため、肩関節の検証できず。
	12	○	肩・仙腸・腰	右肩関節の可動域制限、疼痛。最初に腰・仙腸モビを行ったところ、10° ほど屈曲改善。その後肩モビで屈曲5° 内転5° ほど改善。
	19	○	肩・仙腸・腰	前回と同様に施術。自覚はないが、他覚的には同様な結果が得られた。
	26	△	肩・仙腸・腰	肩関節の屈曲が10° ほど、外転が若干の改善が見られた。但し、前回より改善度合いは低い。
NHさん 90女性	6	肩・仙腸・腰仙	▲	元々肩関節の可動性制限の自覚がなく、疼痛もない。施術前後でも、他覚的に改善は見受けられず。
	13	肩	○	可動域に対する自覚に乏しいので、施術者の他覚での比較とする。バイアスを除くため、マッサージ・検査・モビ・検査という順で比較したところ、両肩関節とも5° 屈曲改善、若干の内転改善が見られた。
	20	肩・仙腸・腰仙	△	肩関節に関しては施術後、内転の改善が見られた。肘関節伸展はあまり影響は無かった。
	27	肩・仙腸・腰仙	△	肩関節屈曲は若干の改善が見られた。外転は変わらず。
ATさん 85男性	7	肩・仙腸・腰仙	△	左肩関節の屈曲が5~6° 程改善。仙腸・腰仙施術後との比較では変化なし。
	14	肩・仙腸・腰仙	▲	若干、左上肢の屈曲時に内転作用が見られたが、さほどの変化は無い。

	21	肩	△	左上肢の屈曲とその時の内転が若干の改善。
	28	肩	△	前回とほぼ同様の結果だが、今回の方が体幹による代償は減少している。
HSさん 90女性	7	腰・仙腸・ 肩	○3→1.5	肩関節の施術にご協力いただく。仙腸・腰仙モビリゼーション 施術後、屈曲のが改善。その後肩モビリゼーションで内転が 改善。ご本人も自覚される。
	14	肩・仙腸・ 腰仙	○3→1.5	前回の状態から少し元の戻った所からの施術で、やはり屈曲 5° 内転3° 程度改善。自覚度合いは前回より良い。
	21	肩・仙腸・ 腰仙	△3→1.5	前回と同様な結果が得られた。
	28	肩・仙腸・ 腰仙	△3→1	前回より屈曲での内転が改善している。

前回同様に仙腸・腰の関節モビリゼーションを組み合わせる行うことが多かったですが、いくつかの例では仙腸関節モビで30%改善し、その後肩関節モビで40%改善するといった症例がみられた。また、ご本人は自覚されていないが、肩関節の可動域が改善することにより体幹の姿勢が良好になるなどの付随的な結果も多く見られた。背部のつながりによる肩－腰ラインの影響が再確認できました。